

## 5月定例記者会見会議録

2020（令和2）年5月1日（金）午後2時～  
市役所本庁5階 501 会議室

### 1. 市長からの発表

今日から5月に入りクールビズが始まりました。

さて、4月10日に新型コロナウイルス感染症拡大に関して三重県からも「感染拡大阻止緊急宣言」が出されて3週間が経過し、4月16日には、全国で「緊急事態宣言」が発令されて2週間が経過しました。県内では30日、直近1週間の感染者数が0人で、「感染未確認地域」となりました。また、伊賀市においては、4月1日以降の感染者は確認されていませんが、全国では感染者拡大が防止できているわけではなく、予断を許さない状況が続いています。国では緊急事態宣言の延長が協議されており、現在の状況がすぐに終息するとは考えられません。

#### （1）伊賀市の新型コロナウイルス感染症対策にかかる方針について

今後の市の対応を定めた「伊賀市の新型コロナウイルス感染症対策にかかる方針」については、配布資料の通りですが、伊賀市独自の市民の皆さんへの支援策として、具体的には、「1. 市民の皆さんの暮らしを守ります」の「高齢者・妊産婦等の感染症予防支援」について、市内等で不織布マスクが少量ながら出回っていますが、まだまだ入手が難しい状況です。そこで、市内の縫製関係の事業所に生産連合を組んでいただき協力を得て、高齢者や妊産婦の方、およそ3万人を対象に、1人当たり5枚の布製マスクを配布します。

##### 【5月19日臨時会に係る記者会見 発表内容】

マスクが市内で手に入りにくい状態が続く中、市独自策として高齢者や妊産婦にマスクを配布する予定で縫製や配給とスキーム（計画・枠組み）をつくり進めてきました。最近の状況を見ると、業種を問わず企業努力により、マスク製造が進む中で、市内でもマスクが充足するようになってきたため、それよりもう少し必要なところの優先順位を上げたということです。

改めて市民の皆さんが、今、何を必要としているのか、状況の変化を注視したうえで、最も必要とされる施策を支援パッケージに盛り込みました。

「2. 事業者の皆さんを守ります」では、緊急事態宣言を受け、先に三重県が発表した県と市町協調事業（三重県新型コロナウイルス感染症拡大阻止協力金）で、対象外となっていた理容・美容事業者の方について、感染リスクが高く、休業したいが補償がないといった声もあることから、期間が延長された場合、市独自で一定の支援を考えていきます。

「4. 子育て・教育を守ります」では、記載されている経済支援策としての給食費（副食費）の減免に加え、学校の休業による学習の補償として、家で様々な読書をしてもらうため、小中学生を対象に、1人当たり3千円分の図書券を配布したいと思います。また、学校再開後は、半年間給食費の無料対応を考えています。他には、現在ある市の奨学金について、今年度に限り、既に対象となっている方の額の上積みや、昨年度の一定期間の収入に比べ著しく収入の減った世帯を対象に、今年度に限り奨学金を支給することとしたいと考えています。実施するには、いろいろな課題もありますが、実施に向けて制度設計を

進めているところです。

今回、新型コロナウイルス感染症に対する伊賀市独自の経済対策として、現在ある財政調整基金を活用し、およそ 10 億円規模の対策を検討したいと考えています。これまでの市税納付猶予、水道料金・下水道使用料等の支払猶予に準じて、市営住宅使用料の支払猶予を行います。

なお、今日、特別定額給付金給付事業費、子育て世帯臨時特別給付金に係る予算については、一般会計補正予算（第1号）として専決処分を行ったところです。

また、明日から大型連休ですが、銀座通り入口のゲートに、不要不急の外出を控えていただくよう、今日、横断幕を設けました。上に飾ってある忍者の子どもの人形もマスクをし、横断幕には「忍法 おうちで忍べ」と記載しています。明日から大型連休ですが、感染拡大防止にご協力をお願いしたいと考えています。

なお、特別定額給付金ですが、できるだけ早く、確実に市民の皆さんにお届けしたいと思います。そのため、昨日、特別定額給付金室を設置し、5月中には申請書が届くよう事務を進めるよう指示したところです。

## （2）Web 会議システムを活用したオンライン移住相談を開始します・

今日、5月1日より、Web 会議システムを活用したオンライン移住相談を開始します。

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言が発令されるなか、東京や大阪などで開催予定であった移住相談会はすべて中止となっています。

しかし、こうした状況にあっても、移住相談は引き続き寄せられており、移住コンシェルジュが市外に出掛けていくことなくサポートが行えるよう、Web 会議システム

「Zoom<sup>スー ム</sup>」を使用した、オンライン移住相談を実施することとしました。

このシステムでは、パソコンのカメラでお互いの顔を見ることができ、実際に相談に訪れたような安心感が得られます。また、パソコン画面の共有が可能で、必要な資料をその場で提供することができます。

なお、あわせて三重県にも働きかけを行い、県が東京に設置している移住相談窓口の「Zoom<sup>スー ム</sup>」との連携を実施します。これにより、東京の移住相談窓口に来訪された相談者に対して、システム上で伊賀市、三重県、相談者の3者で相談を行うことが可能になります。こちらは5月7日から実施する予定です。

依然、厳しい状況が続くことが予想されますが、世の中が落ち着きを取り戻した時、スムーズに伊賀市への移住が実現できるよう、しっかりとサポートさせていただきたいと考えています。

## （3）移住交流施策の4ヵ年の実績報告について

昨年度の移住実績の集計が出来ましたので、これまで4年間の取組実績と併せて発表します。

伊賀市では、2016（平成 28）年度より「移住・交流」を市の重点施策と位置づけ、県内初となる専門部署を設置して取組を始めています。

主な取組としては、

- ・移住コンシェルジュによる相談窓口の設置
- ・東京、大阪、名古屋などでの移住相談会
- ・東京、大阪、名古屋などでの移住プロモーション
- ・市の魅力を体験する移住セミナー
- ・移住者を対象とした交流会

などを実施しました。

移住実績では、2019（令和元）年度の延べ相談件数が 1,105 件、移住者数が 50 世帯 88 人でした。前年度（2018 年度）は、初めて延べ相談件数が 1,000 件を突破し、相談件数、移住者数も、2016（平成 28）年度と比較すると約 3 倍の実績を達成しました。

また、三重県の調査によると、2019（平成 31）年 4 月から 2020（令和 2）年 1 月末までの期間、行政の相談窓口を利用して三重県へ移住した人数は 239 人で、うち 56 人が伊賀市への移住でした。実に県全体の約 23% を占める結果となりました。

こうした取組や実績が評価され、宝島社の『田舎暮らしの本』の特集「2020 年版住みたい田舎ベストランキング」では、東海エリアで総合 4 位に選ばれました。

伊賀市の強みは何と言っても、2 名の専従の移住コンシェルジュの存在です。移住に際して何を大切にすかの優先順位の整理や、相談者ごとに違う移住前後の不安を解消するお手伝いをさせていただいています。例えば、ある子育て世帯の場合には、家から学校までの距離や、通学手段、学年別の生徒数、給食の献立、食材の調達先までお調べしたこともありました。また、ある人見知りの単身者の場合には、自治会長への挨拶に同行したこともあります。

一言に「移住希望者」と言っても、その志向や置かれている状況は千差万別です。できるだけ詳しくお話を伺い、想定しうる最良の未来に近づけるよう、頭をひねり、先回りしてサポートを行っています。

なお、こうして伊賀市に来られた方々は、市民として地域に溶け込み、これまでの経験や知識を活かして、起業されたり、市民活動に携わるなど、自分たちのスタイルで、伊賀市で活躍しておられます。

最近では、「移住者を支える移住者」の活躍も目立つようになりました。友だちづくりが不安な移住者には、先輩移住者が仲間を集めて交流会を開催したり、古民家を改修したい移住者には、建築士の先輩移住者がDIYの知識や資材を提供してあげたこともありました。なお、こうした移住者同士の繋がりのきっかけづくりは、市が主催する「移住者交流会」が大きな役割を果たしています。

最後に、私たちがサポートさせていただいたご夫婦のうち、数組が出産され、子育てに奮闘されています。相談者の方が、妊娠や、日々の子どもの成長をご報告に来てくれることは、何より嬉しく、伊賀市の活力が生み出されていることを実感しています。

人口減少が加速度を増すなか、まちの活力を維持し、選ばれる存在であり続けるため、今後もさらに「来たい・住みたい・住み続けたい“伊賀市”」の実現に向けて、取組を進めていきたいと考えています。

#### (4) マイナンバーカード「伊賀嵐<sup>いがらし</sup>マイ デザイン保護シール」を配布します

5月1日から、マイナンバーカードを受け取る際に、伊賀上野NINJAフェスタ実行委員会公認キャラクター「伊賀嵐マイ」デザインの、マイナンバーカード個人情報保護シールを配布します。

カードの裏面に記載のマイナンバー（個人番号）を他人から見えないように保護するためのシールで、何回も貼り直しができます。

デザインは2種類ありますので、1人1枚希望する方を選んでいただきます。マイナンバーカードにキャラクターを起用することで注目を集め、カード申請促進につなげたいと思います。

また、交付窓口には、このデザインの「のぼり」を設置してさらに注目を集めるよう取り組んでいきます。

#### (5) ひとり歩き高齢者等見守り支援事業『見守り安心シール』を交付します

認知症などの病気により、記憶力や判断力が低下すると、慣れた道でも迷ったり、家に帰れなくなってしまうことがあります。そのような高齢者の早期発見・保護のために、衣服などに貼り付けることができる「QRコード付見守り安心シール」を希望者に無料で1人あたり15枚交付します。

このシールのQRコードを携帯電話やスマートフォンなどで読み取ると、市や警察の連絡先が表示されます。身元がわからない場合は、シールに記入されている登録番号を市や警察に伝えていただくことで身元が判明し、市や警察からご家族へ連絡される仕組みです。

この「見守り安心シール」をご利用いただくにあたっては、事前に登録申請していただくことが必要です。申請いただいた情報は、市と警察で厳重に管理します。

申請対象となる方は、「市内に住所を有し、在宅生活を送る概ね65歳以上で認知症が心配される人を介護する」ご家族です。ご家族については、市内市外を問いません。

身近に認知症の心配があると思われる方がいらっしゃる場合には、是非、登録申請をお願いします。

また、市民の皆さんには、この見守り安心シールを知っていただき、誰もが認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるように、日常生活における見守り支援をお願いしたいと思います。

#### ○「新型コロナウイルス感染症について」市長コメント

なお、緊急事態宣言によって、住民の皆さんには今まで以上に不安になる人が多いかと思いますが、市内の生活は今までと変わりません。どうぞご心配のないようにしてください。

食品や日用品の買い物は、いつも通りさまざまなお店ですることができます。

伊賀市は隣接の京都府あるいは奈良県の町村と、定住自立圏という協定を結んでいます。生活圏は同じですので、奈良ナンバーや京都ナンバーをつけた車を見ることも多いと思います。遠くまでお出かけをしているように見えるかもしれませんが、隣同士ということで、皆さんもご理解をしていただきたいと思います。

## 主な質疑応答の概要

### 【伊賀市の新型コロナウイルス感染症対策にかかる方針について】

記者：財政調整基金はいくらありますか。

財政課：財政調整基金は、令和元年度末見込みで約 60 億円です。60 億円の内 10 億円を取り崩します。

市長：国から交付金が約 3 億です。これには「三重県新型コロナウイルス感染症拡大阻止協力金」に 1 億円を負担することになっています。あとは、まさかの時に蓄えてきた財政調整基金を、今までにないようなひとつの災害という認識の基に出動させたいと思います。

記者：給食費減免というのは、どういった内容ですか。伊賀市独自ですか。

市長：伊賀市独自の支援です。小中学校の給食費が半年くらいを目途に無料です。

記者：奨学金の金額や要件はどのようになっていますか。

市長：（1 年間で）大学生 1 人 24 万円、高校生 1 人 12 万円。こうした状況のなかで、学業を支えるだけの収入が難しいという家庭で学業を放棄しなければならないということになると大変気の毒なため、そうしたことの無いように、必要なサポートをしたいということです。

副市長：返還なしの給付型です。

市長：金額は、伊賀市ササユリ奨学金の 24 万円に揃えました。

教育委員会：大学生につきましては、住所要件は市外の方でも結構です。ただし、就学のために市外へ出た人に限るとなっています。

記者：理美容の金額は決まりませんか。

市長：金額は決まりませんが、やらないと終息には向かいませんから。伊賀市独自です。

記者：休んでいただきたいということですか。

市長：はい。今、店側もお客もマスクをしながら調髪、美容をしている状況です。

記者：この中で、議会の議決を得ないといけないものはありますか。

市長：1 人 1 万円の児童手当上乗せ給付金や 1 人 10 万円の特別給付金などの専決処分はしました。今申し上げた市独自の施策については、議決を得て予算措置をしないと厳密には執行できないものです。議長、副議長ともこれについては、しっかりと心ひとつにして予算執行に向けていきたいと思います。

### 【「マイナンバーカード『伊賀嵐マイ デザイン保護シール』を配布します」について】

記者：マイナンバーカードの名前やマイナンバーとかを隠すためのシールですか。

市長：個人番号を書いたところを、シールで隠し、必要な時にシールを剥がして使う。

記者：役所でマイナンバーカードを提示するときは、一度剥がさないといけない。普段持ち歩くときに隠す。マイナンバーの交付実績はどれくらいですか。

戸籍住民課：2020（令和 2）年 3 月 31 日時点の交付枚数 10,390 枚、交付率 11.26% です。

記者：新型コロナウイルス感染症拡大の後、増減はありますか。

戸籍住民課：現時点では大差はありません。

## 2. その他

### 伊賀市長の資産等の公開について

公開日：5月18日（月）

場 所：伊賀市役所企画振興部広聴情報課（4階）

時 間：午前8時30分～午後5時15分（土・日曜日、祝日を除く）

担 当：総務部 秘書課（0595-22-9600）